

【様式Ⅰ】

授業時数特例校指定申請書（新規）

申請年月日を入力→
(例. 令和●●年●●月●●日)

令和5年11月1日

同じ管理機関から複数の申請様式を提出する場合は、同一の申請年月日としてください。

文部科学省初等中等教育局長 殿

管理機関名及び代表者の役職を入力→
(例. ●●市教育委員会教育長)

●●町教育委員会教育長

管理機関の代表者の氏名を入力→
(例. ●● ●●)

文科 太郎

下記の通り、授業時数特例校の指定を希望するので、本申請書により申請します。

記

1 特別の教育課程を編成・実施する学校の管理機関名等を入力してください。

設置者の別

公立

管理機関名（上段はふりがな）

●●ちょうきょういくいいんかい
●●町教育委員会

都道府県教育委員会名

北海道教育委員会

ドロップダウンリストから選択すること。

管理機関名をひらがなで記載すること。

正式名称で記載すること。（例. ○○市教育委員会、○○町学校設置組合、学校法人○○学園、国立大学法人○○大学）

ドロップダウンリストから選択すること。
※学校設置会社が設置する私立学校は、直接入力すること。
※指定都市が設置する公立学校及び国立学校は記載不要。

2 特別の教育課程を適用する学校種を選択してください。

小学校

1校

別紙2に記載する「学校の一覧」の学校数が転記されます。

中学校併設型小学校、中学校連携型小学校の特例を活用し、小中一貫教科等を設けている場合は、左欄にチェックを付してください。

ドロップダウンリストから選択すること。

小中一貫教育・中高一貫教育の特例を活用し、小中一貫教科等・選択教科を設けている場合は、チェックを付すこと。また、別紙1－1又は別紙1－2の該当する欄に、小中一貫教科等・選択教科の名称及び各学年の授業時数を記入すること。

3 特別の教育課程を開始する年度を入力してください。

特別の教育課程の開始年度

令和6年度

申請する年の翌年度以降の年度を記入すること。

4 特別の教育課程を編成する際の各教科等の授業時数を別紙1－1の教育課程表に入力してください。

5 4の授業時数による特別の教育課程を編成することにより、どのような教科等横断的な資質・能力の育成もしくは探究的な学習活動の充実に資することを目指しているのか、当てはまるものを選択してください。（複数選択可）

言語能力の育成

情報活用能力の育成

問題発見・解決能力の育成

伝統や文化に関する教育の充実

主権者に関する教育の充実

消費者に関する教育の充実

法に関する教育の充実

知的財産に関する教育の充実

郷土や地域に関する教育の充実

海洋に関する教育の充実

✓環境に関する教育の充実

放射線に関する教育の充実

生命の尊重に関する教育の充実

心身の健康の保持増進に関する教育の充実

食に関する教育の充実

防災を含む安全に関する教育の充実

その他教科等横断的な資質・能力の育成もしくは探究的な学習活動の充実

以下のとおり対応すること。
・小学校：別紙1－1に入力
・中学校：別紙1－2に入力
・義務教育学校：別紙1－1及び別紙1－2に入力
・中等教育学校前期課程：別紙1－2に入力
※別紙は同じファイルの別シートに用意されている。

他の選択肢のいずれにも当てはまらない場合のみ選択し、具体的な内容を記載すること。

6 4の授業時数による特別の教育課程を編成する学校名の一覧を別紙2に入力してください。

ドロップダウンリストから選択しチェックを付すこと。

7 以下①～⑦の各項目について、それぞれ要件を満たしていることを確認し、チェックを付してください。

(1) 各学校の同意

①	✓	4の授業時数により特別の教育課程を編成することについて、6の各学校の同意を得ている。
---	---	--

(2) 児童生徒の教育上適切な配慮

②	✓	4の授業時数により編成する特別の教育課程について、教育基本法（平成18年法律第120号）及び学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する各学校の教育の目標に関する規定等に照らして適切であることを、●●町教育委員会において確認済である。
③	✓	4の授業時数により編成する特別の教育課程において、学習指導要領において全ての児童生徒に履修させる内容として定められている事項が適切に取り扱われていることを、●●町教育委員会において確認済である。
④	✓	4の授業時数により編成する特別の教育課程について、児童生徒の発達の段階並びに各教科等の特性に応じた内容の系統性及び体系性に配慮がなされていることを、●●町教育委員会において確認済である。
⑤	✓	4の授業時数により編成する特別の教育課程について、保護者の経済的負担への配慮その他の義務教育における機会均等の観点からの適切な配慮がなされていることを、●●町教育委員会において確認済である。
⑥	✓	4の授業時数により編成する特別の教育課程において、②～⑤までに記載するものの他、児童生徒の転出入に対する配慮等の教育上必要な配慮がなされていることを、●●町教育委員会において確認済である。

(3) 実施要項記載事項の確認

⑦	✓	授業時数特例校制度実施要項に記載の事項について、6の各学校及び●●町教育委員会において確認済である。
---	---	--

ドロップダウンリストから選択しチェックを付すこと。

8 4の授業時数による特別の教育課程の内容の情報提供の方法に関する以下①及び②について、それぞれ確認し、チェックを付してください。

①	✓	6の各学校において、特別の教育課程の内容（特別の教育課程の編成の方針及び4の授業時数を記載した表）について、学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者への説明を <u>既</u> に行っている。
②	✓	特別の教育課程の内容（特別の教育課程の編成の方針及び4の授業時数を記載した表）について、6の各学校のウェブサイト（学校のウェブサイトが存在しない又は一時的に利用できないなどの特段の事情がある場合は、地域に広く公表することのできるその他の媒体）において公表し、特別の教育課程が実施されている間公表を継続する予定である。 【令和6年4月30日までに公表し、令和6年5月31日までに文部科学省に報告すること。】

【担当者】

1 管理機関

管理機関名	●●町教育委員会
(ふりがな) 担当者氏名	もんか はなこ 文科 花子
所属・職名	●●町教育委員会〇〇課××主事
住所（上段は郵便番号）	〒000-0000 北海道●●町・・・
電話番号	0000-00-0000
メールアドレス	xxx@xxx.lg.jp

2 都道府県教育委員会

都道府県教育委員会名	北海道教育委員会
(ふりがな) 担当者氏名	もんぶ たろう 文部 太郎
所属・職名	北海道教育委員会〇〇課××主事
住所（上段は郵便番号）	〒000-0000 北海道・・・
電話番号	0000-00-0000
メールアドレス	xxx@xxx.lg.jp

エラーの有無を必ず確認すること。
エラーがある場合、修正してから文部科学省に提出すること。エラーがない場合も、内容に問題ないことを確認の上、文部科学省に提出すること。

【エラーチェック】

エラーはありません。内容に問題ないことを確認の上、文部科学省に御提出ください。